

イベント案内・お知らせ

展示・開催中 常設展示：「祭に想いをはせる」

〇市内各所のお祭りに関する道具を紹介していきます。今回は、駒形神社の神輿、及び祭礼道具を展示します。
 開催日：令和4年3月29日（火）～7月中旬頃（予定）
 展示資料：駒形神社の神輿、祭礼道具等

開館時受付 「化石・鉱物調査相談サービス」

お手持ちの化石や鉱物を、専門の学芸員が調べるお手伝いをします（無料）。
 受付日時：令和4年5月1日（日）より開始。アキシマエンス開館時間と同じ
 受付方法：電話、直接来館での受付。1日1回1人5点まで。
 ※ 担当学芸員不在時は調査相談の受付ができない場合がございます。ご来館の前にお電話等で確認いただけます。
 ※ 調査に時間がかかる為、郷土資料室で標本をお預かりする場合がございます。予めご了承ください。
 ※ 諸般の事情により、「ものしり化石塾 in アキシマエンス」は令和3年（2021年）度をもちまして終了となりました。楽しみにしていた方には、誠に申し訳ございませんが、ご了承の程お願いいたします。

お知らせ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、ご協力をお願い致します

- ・37.5℃以上の発熱や体調不良の場合はご来場をご遠慮ください。 ・施設入口での検温をお願い致します。
- ・ご入室の際はマスクを着用いただき、手・指の消毒にご協力をお願い致します。
- ・密になるのを避けるため、入場制限を行う場合がございますので、ご了承ください。
- ・展示内容やイベント内容、開室時間、開館日など、新型コロナウイルス感染拡大状況により、予告なく変更となることがございます。予めご了承ください。最新の情報はホームページをご覧ください、お電話でお問い合わせください。

バックナンバー（過去の郷土資料室だよりをダウンロードできます）

下記 URL（アキシマエンスホームページ）または右のコードを読み込むことで、郷土資料室だよりを Vol.1 から最新号まで電子版（PDF）をダウンロードして閲覧できます。
https://www.akishimaensis.jp/guide/heritage_newsletters.html



郷土資料室利用案内

- 開室時間**
 ＊郷土資料室 火～金 午前10時～午後8時 土・日・祝 午前10時～午後6時
 ＊郷土資料展示室 火～日・祝 午前10時～午後5時 郷土資料展示室見学の際は郷土資料室スタッフにお声がけください。
- 休室日**
 月曜日（祝日の場合は、翌平日）、年末年始
- お問い合わせ**
 ＊昭島市郷土資料室・郷土資料展示室
 住所 〒196-0012 昭島市つつじが丘3-3-15アキシマエンス内
 TEL 042-543-1523（市民図書館共通）
 FAX 042-542-8002（市民図書館共通）
 ホームページ https://www.akishimaensis.jp/guide/heritage_list.html
 ＊昭島市教育委員会 生涯学習部 アキシマエンス管理課 文化財係
 住所 上記と同じ
 TEL 042-519-5717
 FAX 042-519-7456



- ＊ JR 青梅線昭島駅、中神駅より徒歩10分
- ＊ 立川バス（昭21・22・23・24・26系統）「昭島市民会館」より徒歩5分
- ＊ Aバス 北ルート「アキシマエンス」下車すぐ

編集後記
 春号（通巻第5号）いかがだったでしょうか？今回は夏休み期間の大型企画展の特集を予定していますので、次号もお楽しみにください。（学芸員 尾崎）

郷土資料室だより「鯨ーいさなー」 令和4年度春号（通巻第5号）
 編集・発行 昭島市郷土資料室 〒196-0012
 東京都昭島市つつじが丘3-3-15
 電話：042-543-1523
 FAX：042-542-8002
 令和4年4月発行



① 拝島日吉神社の屋台人形 ② 福島神社の神輿・祭礼道具
 ③ 熊野神社・日枝神社の神輿・祭礼道具 ④ 駒形神社の神輿・祭礼道具

昭島市郷土資料室では、令和2年（2020年）6月のアキシマエンス開館以降、市内の祭礼に関する文化財を展示してご紹介してきました。令和4年（2022年）4月現在は駒形神社の神輿と祭礼道具を展示中です。

撮影：学芸員 鈴木

目次

- 特集記事
 - ・ ～昭島の祭礼～ 常設展示：「祭」に想いをはせる……………p.2
- 郷土資料室トピック
 - ・ ～郷土資料室化石コレクション～火山灰に埋もれた化石……………p.3
- イベント案内・お知らせ
 - ・ 郷土資料室利用案内……………p.4

～昭島の祭礼～

常設展示：「祭」に想いをさせる



図1 昭島市内の神社所在地と祭礼展示。昭島市内の各神社から祭礼道具をそれぞれお借りして展示してきました。

昭島市郷土資料室では、令和2年（2020年）6月のアキシマエンスシ開館以降、拜島の日吉神社の屋台人形（図1：①）を展示したのを皮切りに、昭島市内の祭礼に関する文化財を定期的に入れ替えて展示しています。

令和3年（2021年）10月からは福島神社（図1：②）、同年12月からは熊野神社・日枝神社（図1：③）の祭礼道具を展示しました。とりわけ、威厳のある屋台人形や神輿の展示は大変好評でした。そして令和4年（2022年）3月からは、旧天神村の鎮守、駒形神社の祭礼（図1：④）に関する道具を展示しております。

各神社はそれぞれ、昭島の旧村々の鎮守であり、創建から少なくとも数百年以上の歴史をもちます。祭礼で行われるお囃子は、悪霊退散や疫病防除を願って奉納されます。

折しも、感染症拡大により祭礼は中止となっていますが、このような時だからこそ、昭島に脈々と受け継がれてきた祭礼道具を是非間近にご覧ください。

本祭礼展示に際して、祭礼の関係者の皆様から並々ならぬご高配を賜りました。ここに記して深く御礼申し上げます。（学芸員 鈴木）

～郷土資料室化石コレクション～

火山灰に埋もれた化石



図1 火山灰層中の印象化石。軽石の岩塊の中に印象化石がみられ、溝の黒い部分は炭となった植物片です。

1996年に、多摩丘陵（東京都日野市内）にて採取された前期更新世（約200万年前）の植物化石（収蔵番号：LMA-F3-40）です（図1）。見つかった標本は「印象化石」という動植物の輪郭が堆積物に押し当てられてできた化石です（簡単に言うと、スタンプになった化石です）。

火山の噴火によって降り積もった軽石の地層の中から産出した化石であることから、大規模な火山の噴火が起きた際に、動植物が火山灰の中に埋もれてそのまま化石になったことを示す珍しい標本です。

発見当初は貝の印象化石と思われていましたが、注意深く観察をすすめたところ、熱などの圧力を受けて炭になった植物片もみられることから現在では植物の果実の印象化石であると考えられています。果実の詳しい種類については、現在専門の学芸員が調べています。（学芸員 尾崎）



今回ご紹介した化石は開催中の部門展示で実物を見られます！



図2 企画展示棚I・J



図3 約200万年前の軽石（東京都昭島市）

郷土資料室の入口前の本棚（企画展示棚I・J）には、市内の郷土史、自然史、四季の訪れ等を題材にした展示があります（図2）。

「化石の本棚」では4月から6月頃まで（予定）昭島市周辺で採取された約200万年前の火山灰（図3）等を展示します。是非ご覧ください。